

(3-4)

次世代ロボット内視鏡手術支援システム用スコープ

仕様書

平成31年2月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

I 概要

1 調達物品名及び構成内訳

(1) 調達物品

次世代ロボット内視鏡手術支援システム用スコープ 一式

(2) 構成内訳

① 内視鏡 0°	1 台
② 内視鏡用滅菌トレイ	1 個
③ Hasson Cone	1 個
④ インストゥルメントカニューラ	4 個
⑤ オブチュレータ	1 個
⑥ インストゥルメント用トレイ 6 本用	1 個
⑦ アクセサリー用トレイ	1 個

但し、上記機器の搬入、取付、調整を含む。

2 技術的要件の概要

(1) 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

(2) 以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

Ⅱ 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 次世代ロボット内視鏡手術支援システム用スコープ

次世代ロボット内視鏡手術支援システム用スコープは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 カメラヘッド、エンドスコープ、ケーブルが一体化された、重さ 700g 以下の内視鏡であること。
- 1-2 エンドスコープ先端部に 3D 画像を生成する光学チャネルを、左右に 2 つ有すること。
- 1-3 エンドスコープの直径は 8 mm であること。
- 1-4 エンドスコープの視野角は、80° 以上であること。
- 1-5 エンドスコープの先端部の角度が 0° であること。
- 1-6 内視鏡用滅菌トレイは外寸が 700×400×100mm であること。
- 1-7 インストゥルメント用トレイ 6 本用は外寸が 702×270×112mm であること。
- 1-6 アクセサリー用トレイは外寸が 520×260×70mm であること。

Ⅲ その他

(機能、性能以外に関する要件)

1 機器搬入等

- 1-1 機器搬入及び据付・調整は、受注者が責任を持って行うこと。
- 1-2 調整後、装置が正常に作動するよう当センター職員が立会いの上で試運転を行うこと。
- 1-3 機器搬入の際、当センターの建物及び物品の破損には細心の注意を払うこと。

2 職員研修、技術支援

医師及び看護師が操作方法を熟知し、確実な検査体制が出来るまで受注者が責任を持って研修技術支援を行うこと。

3 保守、点検及び緊急支援体制

- 3-1 納品後1年間は保証期間とし、正常な使用状態において発生した障害については、無償にて修理又は交換を行うこと。
- 3-2 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

4 設備条件

- 4-1 調達に関連し、当センターの1次側設備以外に必要な場合の電源設備、給排水設備、空調設備、通信設備は全て受注者の負担とする。
- 4-2 入札機器導入に必要な搬入・据付・調整は請負者の負担とするものとし、日常業務に支障がないように行うこと。天井及び天井内に設置する機器があれば当センター職員の指示を受け、受注者の負担にて取り付け、復旧すること。
- 4-3 また、機器の搬入・据付時に建物及び物品に損傷が起きた場合、受注者が責任をもって現状復帰すること。

5 納入期限

平成31年3月29日

6 設置場所

大阪府中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

4階 中央手術室

7 その他

- 7-1 入札機器のうち医薬品医療機器等法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点で同法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- 7-2 装置の撤去、運搬、据付調整、検査及び職員研修にかかる諸費用はすべて受注者の負担とし、装置の運搬、設置及び据付調整は所定の位置に納入期限までに速やかに行う

こと。

- 7-3 本調達物品の納品にあたり知り得た情報等の使用及び第三者への提供並びに情報等複
の複写及び複製については厳に禁止する。このことは、業務終了後においても同様とす
る。
- 7-4 当院指定の様式にて、機器の仕様データ(商品名、製造番号など)を提出すること。